

2020年度大阪府における光化学スモッグ緊急時発令等の状況について

1 光化学スモッグ緊急時発令の状況

2020年度は、光化学スモッグ予報5回、注意報4回の発令を行いました。予報・注意報の発令回数は、過去10年の平均的な回数（予報7.1回、注意報5.1回）と比べ大きな差はありませんでした（図1、2）。

最も早い発令日は、6月4日（予報第1号、注意報第1号）で、最も遅い発令日は、8月21日（予報第5号、注意報第4号）でした（表1）。

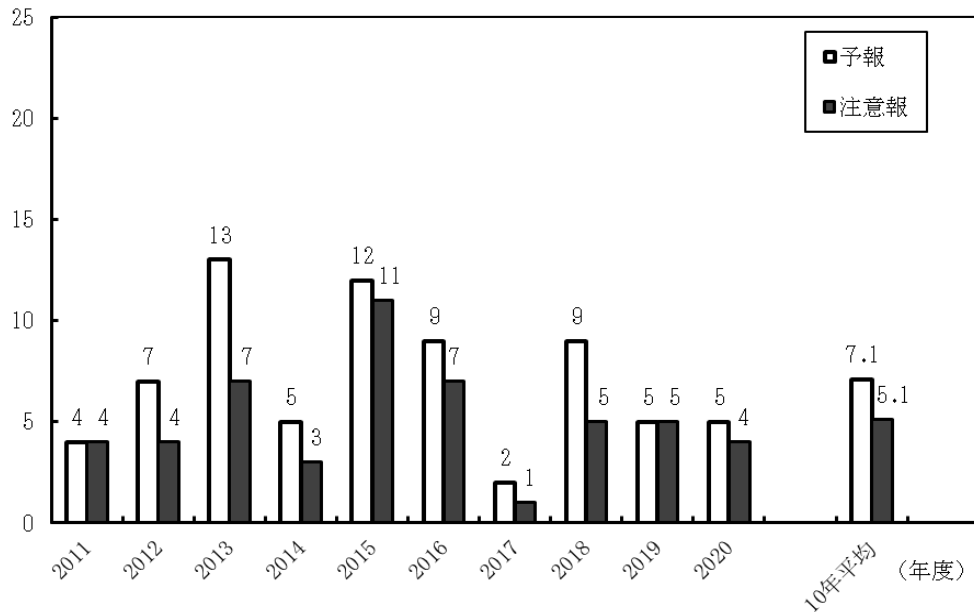


図1 光化学スモッグ予報・注意報発令回数の推移

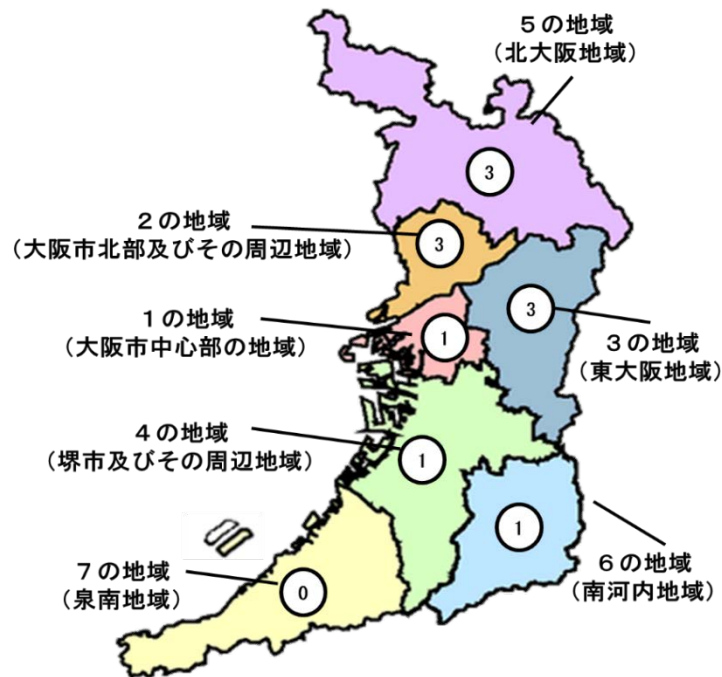


図2 発令地域区分・地域別注意報発令回数（○の中の数字が発令回数）

表1 オキシダント緊急時等の発令状況

発令月日	発令号数		発令時刻	解除時刻	発令時間	発令地域					最高濃度 (ppm)	
	予報	注意報										
6.4(木)	1		13:30	17:30	4:00		2	3		5		0.134
		1	14:30	17:30	3:00		2					
		1	15:30	17:30	2:00			3				
		1	16:30	17:30	1:00					5		
8.17(月)	2		13:30	17:20	3:50	1	2	3				0.124
	2		14:30	17:20	2:50					5		
		2	14:30	17:20	2:50		2	3				
		2	15:30	17:20	1:50					5		
8.19(水)	3		14:30	17:20	2:50					5		0.133
		3	15:30	17:20	1:50					5		
8.20(木)	4		13:30	14:30	1:00					5		0.112
8.21(金)	5		13:00	17:20	4:20					4		0.143
	5		13:30	17:20	3:50	1	2				6	
		4	13:30	17:20	3:50					4		
		4	14:30	17:20	2:50	1	2				6	
	5		15:10	17:20	2:10			3				
		4	15:30	17:20	1:50			3				

2 被害の訴えの状況

2020年度における光化学スモッグによると思われる被害の訴えの届出はありませんでした。

3 気象の概況

6月後半から～7月にかけては、梅雨前線が西日本の南岸に停滞することが多く、近畿地方の梅雨明けが8月1日と非常に遅くなりました。このため、7月は平年に比べ、非常に多雨、寡照となり、日最高気温の月平均値が平年より2℃も低く、オキシダント濃度は低い日が続きました。

一方、8月は太平洋高気圧の勢力が強まり日本海まで張り出し、西日本を広く覆ったため、晴れて気温の高い日が多く、降水量は非常に少なくなりました。また、日照時間は、平年に比べ80時間も多くなりました。これらからオキシダント濃度が高くなりやすく、8月中旬には注意報レベルになる日が数日ありました。

表2 気象項目の平年値との比較

観測地点	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
大阪管区気象台 (注1)	日最高気温の月平均値(°C)	本年	18.1	25.7	29.1	29.6	35.7	30	22.9
		平年(注2)	19.9	24.5	27.8	31.6	33.4	29.3	23.3
	総日照時間(時間)	本年	227.8	221.3	175	95.2	296.3	134.6	182.8
		平年(注3)	188.6	194.3	156.2	182.1	216.9	156.7	163.9
	日降水量が1.0mm以上の日数(日)	本年	5	9	10	22	4	9	8
		平年(注2)	9.3	10.0	11.2	9.9	6.9	9.4	7.9
	月平均風速(m/s)	本年	2.8	2.5	2.5	2.4	2.4	2.5	2.4
		平年(注2)	2.7	2.6	2.5	2.7	2.8	2.4	2.2
	平均曇量(10分比)	本年	6	7	7.8	9.6	5.9	8.1	5.9
		平年(注2)	6.4	7.1	8.0	7.6	6.7	7.2	6.1

(注1) 大阪管区気象台の値は、大阪管区気象台「大阪府の気象」及び気象庁「気象統計情報」による。

(注2) 平年値は1981年から2010年の30年間の平均値

(注3) 1986年1月から日照時間の観測方法が変更されたため、参照値(平年値に準ずる値)を用いた。